

前田河廣一郎

まへたがわひろ

小説家。

明治二十一年十一月十二日宮城縣生

れ、昭和二十二年十二月四日歿（六六一九歳）。號荒古脱人。宮城縣

と第一中學校中退。上京して徳富重房花井節事。明治四十年アメリカ

渡り、英字紙の寄稿、更に邦文紙編輯長等を経て大正九年歸國。雜誌

『中外』編輯長。十二年『種蒔く人』、翌年『文藝戦線』同人。

譯著書、バートランド・ラッセル著『ボリシェビキの理論と實際』

（譯、大正十年七月）二十五日（二田書房）、『赤い馬車』（大正十二年

四月十八日自然社）、『脅威』（大正十二年十二月）二十日新潮社『新

進作叢書』）、『ヤブトン・シンクレイヤ作『地獄』（譯、昭和二年一

月）二十日中央書院）、『戦争に對する戦争』（ヤンチ・シリタリブム小

説集）』（合著、日本左翼文藝家總聯合会蔵原惟人編、昭和二年五月

二十日中央書院）、『プロレタリア藝術教程・第一輯』（合著、饒

平名智次郎編、昭和四年七月）日世界社）、A・R・ウイリヤムス著

『ソングエート・ロシヤ風土記』（譯、昭和四年十二月五日中央公論

社）、シンクレイヤ作『資本』（譯、昭和五年四月）二十日日本評論社）、

評論集『十年間』（昭和五年五月）二十四日大衆公論社）、シンクレイ

ヤ・ルイス作『本町通り』（譯、昭和八年二月七日新潮社）、チャイ

ルス・エール・ハリスン作『將軍はベッドで死ぬ』（譯、昭和六年十

月五日中央書院『國際プロレタリア文學選集』）、『文戦』の三期一年



集』（労働藝術家聯盟文藝部金子洋次共編、昭和

六年十月）二十三日改造社）、『大暴風雨時代』他一

篇』（昭和八年十二月十四日改造社『改造文庫』）、

『ヤブトン・シンクレイヤ作』協同組合』（譯、昭和十二年六月十五日第

一書房)、コサツコ・ヴァンゼツテ事件―廿世紀最大不祥事』(昭和
十二年七月)二十一日河出書房「記録文學叢書」)、〔徳富蘆花十周年
記念〕「蘆花傳」(昭和十
三年四月十日岩波書店)、コ人間』(昭和十二年十月)二十一日六藝
社)、コ火田』(昭和十二年十一月十四日六藝社)、コ國境のらふて』
(昭和十四年五月)二十一日六藝社)、コ倉詰』(昭和十五年五月五日
鱒書房)、H・G・ウエルズ著「世界新秩序建設」(譯、昭和十五年
五月十六日非凡閣)、シンクレーヤ・ルイス作「妖聖ガントリー」(譯
昭和十五年六月十八日今日の問題社「ノーブル堂文學叢書」)、リチ
ヤード・レウエリン作「わが銘合縁起り」(譯、昭和十五年七月)二十
一日非凡閣)、コ物語米國史』(昭和十六年七月十日教材社)、コ世
界偉人美談』(昭和十六年十月十日非凡閣)、コ青春限りなく』(昭
和十七年二月五日有光社「有光名作選集」)、コ米國戰争史』(昭和
十七年八月)二十日有光社)、コ大維新の人物(上卷)』(昭和十八年
六月)二十日潮文閣)、コ蘆花の藝術』(昭和十八年十一月)二十日興風
館)、コトルストイ』(昭和二十一年二月)二十日興風館)、コ蘆花傳』
(昭和二十一年十一月)二十日興風館)、コ追はれぬ魂(復活の蘆花)』
(昭和二十二年八月)二十一日月曜書房)、コ青春の自画像(遊ぶは字
問答)』(昭和二十二年五月)理論社)等。